

第34回全日本パイプ大会

2007年9月9日 (青森) ホテル青森 120名参加

個人優勝	千田 彰 (六本木ローデシアン)	114分06秒
団体優勝	六本木ローデシアンP・C	290分04秒
レディース優勝	小滝 広子 (すみだ川P・C)	86分10秒



(大会風景)

今回の大会は、青森で2度目の大会になります。大会成績は個人戦に六本木のベテラン千田氏が優勝。団体戦も六本木が獲得した。パーティーでは、地元の津軽手踊りが披露され、テーブルには、本場のまぐろが、平木会長から出され、盛り上がった。

(パーティー風景)



第33回全日本パイプ大会

2006年9月17日（京都）からすま京都ホテル 154名参加

個人優勝	惣司 勝三(京都ぱいぷ倶楽部)	99分00秒
団体優勝	すみだ川パイプクラブ	244分16秒
レディース優勝	井上 小夜子(ジョンシルバー)	78分15秒



(大会風景)

京都での大会は、27年前に開催されており、二度目の大会になる。さすが観光地で何処を見るか、迷ってしまう。金閣寺・嵐山・清水寺・銀閣寺・御所まだまだ数えきれない。貴船に行き川床料理を楽しんだ方もおりました。



(パーティー風景)

第32回全日本パイプ大会

2005年10月16日（山形） グランドホテル 155名参加

個人優勝	西崎 孝男（岡山パイプクラブ）	129分15秒
団体優勝	岡山パイプクラブ	344分27秒
レディース優勝	節句田 恵美（岡山パイプクラブ）	104分28秒



（大会風景）

東北の日本海側では、初の大会で、前日より全国の選手が集まり、山形観光を楽しんだ。パイプクラブの名前を取った霞城公園・旧市町舎や寺廻りをする人、天童まで足を延ばし、将棋の駒や将棋板を土産にする人もいた。夜は早めに切り上げ、翌日の大会に備える方が多く見られた。



（パーティー風景）

第31回全日本パイプ大会

2004年9月19日 (大阪) 天王寺都ホテル 177名参加

個人優勝	藤原 秀樹 (岡山P I C)	130分36秒
団体優勝	岡山パイプクラブ	348分33秒
レディース優勝	小滝 広子 (すみだ川P I C)	100分45秒



(大会風景)



鈴木新会長、初のスターターの合図でスタートした。
今回は80分超えが19名、100分通過者が6名とチョット淋しくなったが、今回の大会では驚異の記録が出た。岡山P, Cのトリオが個人1・2・3位を独占した。

(表彰式・パーティー風景)



第30回全日本パイプ大会

2003年9月14日（東京）高輪プリンスホテル 207名参加

個人優勝	香山雅美（岡山P・C）	134分14秒
団体優勝	日本パイプスモーカーズC	301分29秒
レディース優勝	井上小夜子（ジョンシルバーP・C）	101分30秒



（大会風景）

大会前日に連盟創立30周年記念祝賀パーティーが開催された。当日はパイプクラブ会員に、各業界関係者を招待して、盛大な祝賀となった。



（パイプワールド風景）

第29回全日本パイプ大会

2002年11月17日（静岡） ホテルアソシア 159名参加

個人優勝	木内 成一（徳島P・C）	123分46秒
団体優勝	すみだ川パイプクラブ	289分42秒
レディース優勝	小滝 広子（すみだ川P・C）	107分10秒



この年よりパイプワールドを開催し、パイプ教室・パイプの販売等を実施する。恒例のパイプ・ツアーは、丸子宿のとろろ汁、竹林の名勝では、竹細工に挑戦、良い土産が出来たと、喜ばれた。

（大会風景）



（パイプワールド）

第28回全日本パイプ大会

2001年9月9日（高松）全日空ホテルクレメント 129名参加

個人優勝	片岡 義 雄 （千葉P・S・C）	124分04秒
団体優勝	徳島パイプクラブ	319分20秒
レディース優勝	井上 小夜子 （ジョンシルバー）	97分17秒



（大会風景）

前日にはバスツアーが開催され、四国村・栗林公園を散策し、讃岐うどんに舌鼓を打った。

大会終了後のパーティーには「金比羅舟々」が披露され、会場は盛り上がった。



（パーティー風景）

第27回全日本パイプ大会

2000年9月17日（盛岡）川徳ダイヤモンドホール 124名参加

個人優勝
団体優勝
レディース優勝

片岡 義雄（千葉PSC）
千葉パイプスモーカーズC
西川 孝子（浦和P・C）

125分36秒
293分51秒
102分51秒



（大会開会）

第27回ともなるとベテラン勢に代わり若い選手が登場しパイプの煙は絶える事無なく引き継がれて行く。



（選手宣誓）



（さんさ踊り）



（パイプツアー）

第26回全日本パイプ大会

1999年11月14日（鎌倉） プリンズホテル 183名参加

個人優勝	林 香（東海P・C）	145分03秒
団体優勝	千葉パイプスモーカーズC	330分43秒
レディース優勝	西川 孝子（フリー）	104分38秒



（大会風景）

湘南の海を眺めてのコンテスト。
パイプ喫煙が明治ごろから吸われ始めた草分けの地

大会前日、小田急「ロマンスカー」でパイプツアーが行われ、
距離も短いですが、25名の方々が優勝した。



パイプスモーキングツアー（小田急ロマンスカー内）

第25回全日本パイプ大会

1998年11月8日（東京） JTアートホール 201名参加

個人優勝

木内 成一（徳島P・C）

143分58秒

団体優勝

徳島パイプクラブ

304分35秒

レディース優勝

小滝 広子（すみだ川P・C）

115分26秒



（大会風景）

弦楽四重奏
背景に
スモーキング

今回大会は25周年記念大会とパーティーが開催されました。JTアートホールは少々狭い会場でしたが、競技中に、弦楽四重奏を背景に、スモーキングを楽しんだ。



（パーティー風景）

ホテル・オークラに移動し記念パーティーを開催し、カントリー・バンドの演奏でダンスを踊るカップルも有り楽しいパーティーになった。



（カントリー・バンド）

第24回全日本パイプ大会

1997年9月28日（神戸） ホテルニューオータニ 152名参加

個人優勝	香山 雅美（岡山P・C）	115分52秒
団体優勝	岡山パイプクラブ	275分43秒
レディース優勝	西川 孝子（JPSC）	89分00秒



（大会風景）

阪神大震災から、2年余り神戸P・Cを励まし、元気づける大会を開催しました。大会前日に中華街で飲茶の夕べを催し、大会に向け楽しみました。

震災復興の一助として、パイプのチャリティー・オークションを開催し、売り上げ金は全額「くすのき基金」に寄付いたしました。



（飲茶の夕べ）

第23回全日本パイプ大会

1996年9月15日（青森） ホテル青森 166名参加

個人優勝	木内 成一（徳島P・C）	138分16秒
団体優勝	徳島パイプクラブ	301分18秒
レディース優勝	小滝 広子（すみだ川P・C）	112分11秒



（大会風景）



今回のスモーキングツアーは、盛岡→青森間で開催。特急「はつかり」の車内で、シェフ帽をかぶり、消えた人は、帽子を脱ぎ終着、青森駅まで吸い続けた強者は、岡山勢は4人エントリー全員が優勝。

大会後のパーティーでは、幻の淡水魚「イトウ」が出され、珍しさも手伝い、アツという間に完売になった。津軽三味線も演奏され、三々五々家路につきました。



第22回全日本パイプ大会

1995年10月15日（徳島）徳島プリンス 166名参加

個人優勝	木内 成一（徳島P・C）	145分21秒
団体優勝	徳島パイプクラブ	306分55秒
レディース優勝	小滝 広子（すみだ川P・C）	94分32秒



（大会風景）



パーティー風景（阿波おどり）

個人団体優勝はホストクラブの徳島P・Cが、2冠を獲得。

表彰式のパーティーでは「踊る阿呆に見る阿呆」の阿波踊りの音楽が流れると、選手たちも一斉に踊りだし、パーティーは、最高に盛り上がった。

第21回全日本パイプ大会

1994年9月25日（奏野） グランド神奈川 174名参加

個人優勝	木村 成一	（徳島P・C）	110分50秒
団体優勝	徳島P・C		285分11秒
レディース優勝	武市 久栄	（徳島P・C）	91分04秒



（大会風景）

大会前日、新宿プラザホテルに於いて、P C J 創立20周年と「ぱいぷ」発行50号記念パーティーが開催されました。翌日は奏野で第21回全日本大会が開催されるので、その日の内に奏野へ移動。



P C J 20周年・「ぱいぷ」50号記念パーティー

第20回全日本パイプ大会

1993年11月13日 (熊本) 菊南観光ホテル 169名参加
個人優勝 高岡 豊 (鹿児島P・C) 150分58秒
団体優勝 熊本パイプすわんかいP・C 284分21秒
レディース優勝 木村 和子 (熊本P・C) 70分52秒



(大会風景)

毎年、恒例になりました、スモーキングツアーを、阿蘇の山並を走るSL列車の車内で開催した。
途中の駅において、パイプをくわえると最高。



(S・L車内のツアー風景)

第19回全日本大会

1992年9月26日水戸ゴールデンホール 195名参加

個人優勝	渡辺 純夫 (六本木ローデシアンP・C)	117分38秒
団体優勝	六本木ローデシアンP・C	311分11秒
レディース優勝	林 寿子 (東海P・C)	105分23秒

大会風景



昨年に引き続き今回も大会前に常磐線特急でスモーキングツアーを開催した。参加者72名の内28名が優勝。夕刻からバーベキューを楽しんだ。

パーティー風景



第18回全日本パイプ大会

1991年10月27日（新潟）万代シルバーホテル 165名参加

個人優勝	林 香	（東海P・C）	113分45秒
団体優勝	六本木ローデシアンP・C		288分11秒
レディース優勝	酒井 裕子	（六本木ローデシアンP・C）	91分40秒



（大会風景）

大会前日に上越新幹線の中で、コンテストを行い終着新潟駅には10名が吸い続けた。

優勝者10名には新潟コシヒカリの俵詰めが送られた。



ゴール（新幹線ホーム）

第17回全日本パイプ大会

1989年10月1日（東京） J T 東京工場 213名参加

個人優勝	木内 成一（徳島P・C）	126分01秒
団体優勝	ジョンシルバーP・C	291分06秒
レディース優勝	酒井 裕子（六本木ローデシアンP・C）	102分52秒



（表彰式）

今大会は翌年開催される世界大会のプレ大会と位置づけされる大会で、世界大会と同じJT墨田工場で行われた。



（大会風景）

第16回全日本パイプ大会

1988年9月25日（岡山） プラザホテル 220名参加

個人優勝	木内成一（徳島P・C）	142分34秒
団体優勝	徳島P・C	333分10秒
レディース優勝	俣野美智子（熊本P・C）	79分59秒



（大会風景）

プラザホテルの前には、岡山後楽園の緑が広がり正面には岡山城をのぞむ素晴らしい演出で、競技が行われました。



（パーティー風景）

第15回全日本パイプ大会

1987年11月2日（東京）サンケイ会館 210名参加

個人優勝	高岡 豊（鹿児島P・C）	177分54秒
団体優勝	ジョンシルバーP・C	347分34秒
レディース優勝	茗荷 律子（ジョンシルバーP・C）	91分02秒



（大会風景）

第15回記念大会にあたり、大会前日、日本では初の前夜祭を開催した。六本木のレストランバーに外国人のバンド演奏・パイプオークション・スウェーデン大使をご招待し、御祝いのおことばを頂きました。



（前夜祭風景）

連盟初のパイプ憲章を起草、パイプスモーカー大賞として、開高 健氏にすばらしいパイプを寄贈した。

第14回全日本パイプ大会

1986年11月2日（金沢） 東急ホテル 173名参加

個人優勝	小鷲 卓美（青山P・C）	120分28秒
団体優勝	六本木ローデシアンP・C	315分35秒
レディース優勝	茗荷 律子（ジョンシルバーP・C）	77分39秒



（大会風景）



能登輪島の無形文化財、御陣乗太鼓

北陸では初めての大会が金沢で開催され、個人優勝は青山P・Cの小鷲氏が2度目の優勝。団体は六本木P・Cが4度目のV。レディースも茗荷さんが4度目の優勝をする。パーティでは能登のご御陣乗太鼓が披露され大会を盛り上げた。



加賀友禅の着物姿のお嬢さんの受付。

第13回全日本パイプ大会

1985年11月24日（横浜）ザ・ホテル・ヨコハマ 205名参加

個人優勝	高岡 豊（鹿児島P・C）	185分27秒
団体優勝	六本木ローデシアンP・C	321分19秒
レディース優勝	酒井 裕子（六本木ローデシアンP・C）	69分24秒

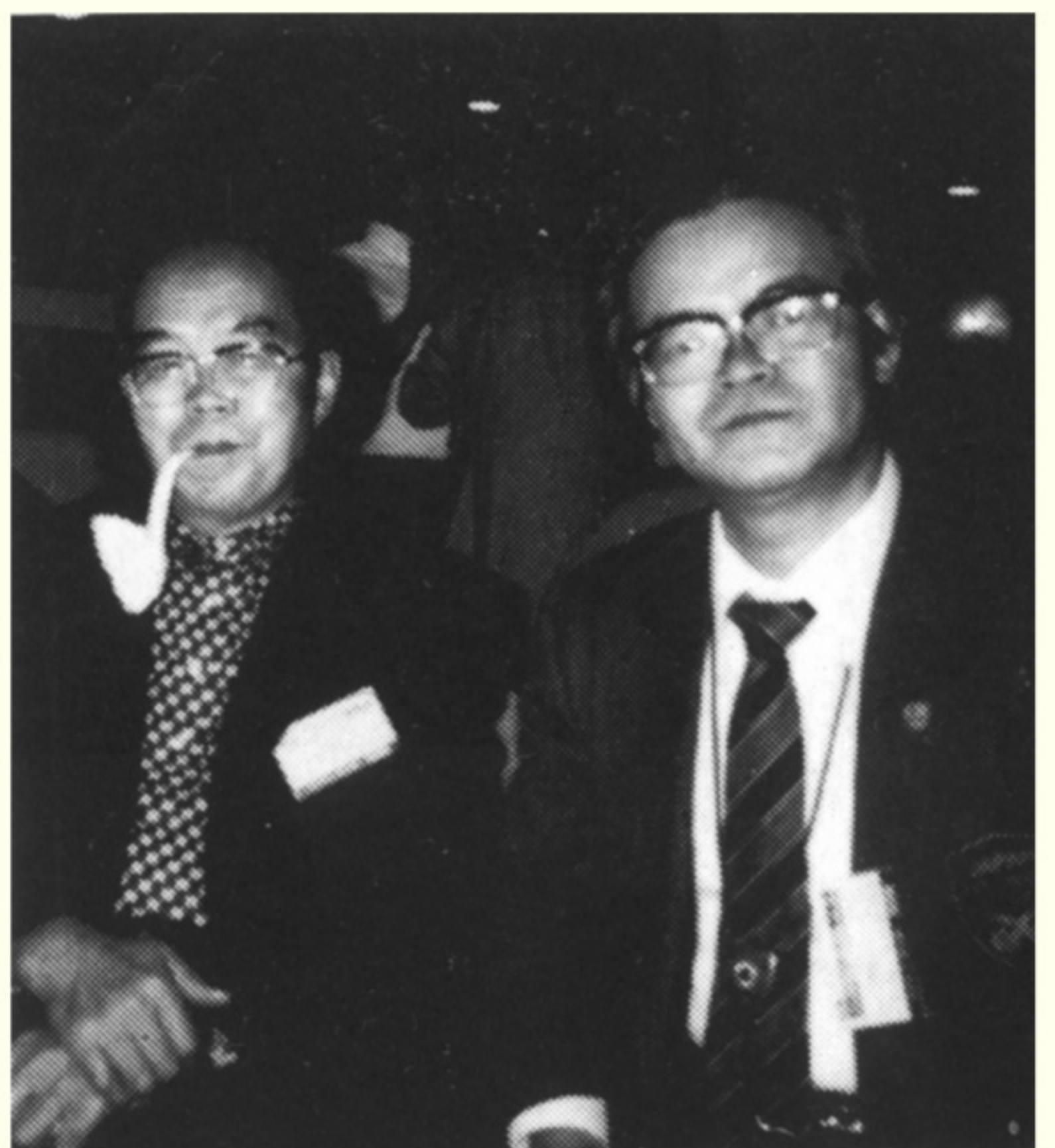


（大会風景）

当日はあいにく、雨になりましたが雨の港町もエキゾチックな眺めで、大会を盛り上げました。港町らしく、スタートの合図は船のドラでスタート。



（大会スタート）



第12回全日本パイプ大会

1984年11月4日（東京）上野・東天紅 215名参加

個人優勝	木内 成一（徳島P・C）	149分06秒
団体優勝	徳島P・C	329分34秒
レディース優勝	茗荷 律子（ジョンシルバーP・C）	74分47秒



（大会風景）

優勝者
徳島の木内氏

東京・上野東天紅で開催され、会場も下町の雰囲気を出した看板を、江戸文字で書き、表彰式には神輿を会場に運び入れ参加者も担ぎ楽しいパーティーになりました。

（パーティー風景）



第11回全日本パイプ大会

1983年9月25日（仙台）ワシントンホテル 196名参加

個人優勝	高岡 豊（鹿児島P・C）	179分11秒
団体優勝	ジョンシルバーP・C	339分57秒
レディース優勝	茗荷 律子（ジョンシルバー）	74分55秒



（大会風景）

杜の都・仙台で全日本大会が開催された。表彰式には、郷土色豊かな大きな「こけし」が入賞者に渡された。



（表彰式）



第10回全日本パイプ大会

1982年10月3日（東京）池袋サンシャイン
千人大会を企画しましたが参加者885名

個人優勝	高岡 豊（鹿児島P・C）	161分46秒
団体優勝	鹿児島P・S・C	330分22秒
レディース優勝	茗荷 律子（ジョンシルバーP・C）	89分20秒



（表彰式）

第10回記念大会を千人大会と銘打って
参加者を募ったが少し下まわりましたが
皆、楽しくスモーキングを満喫した。



巨人軍の堀本律雄と土井正三氏が応援にかけつけた。

第9回 全日本パイプ大会

1981年11月15日（京都） 京都ホテル 199名参加

個人優勝	高岡 豊（鹿児島P・C）	146分31秒
団体優勝	六本木ローデシアンP・C	325分40秒
レディース優勝	市川 滯（JPSC）	87分24秒



（大会風景）

個人戦は高岡氏が2連勝。団体戦は六本木が2度の優勝。六本木は第5回大会が3位。第6回が2位、第7回で初優勝。口の悪いジヨンシルバ-あたりから景品ドロボーの声がかかる。



（パーティー風景）

第8回 全日本パイプ大会

1980年10月10日 (東京) 都ホテル 220名参加

個人優勝	高岡 豊 (鹿児島P・C)	130分11秒
団体優勝	千葉パイプスモーカーズクラブ	318分49秒
レディース優勝	市川 滯 (JPSC)	84分14秒



(大会風景)



(選手宣誓)



(千葉P・S・C選手)

第7回 全日本パイプ大会

1979年9月23日（名古屋） 都ホテル 217名参加

個人優勝	小鷲卓美（青山P・C）	107分38秒
団体優勝	六本木ローデシアンP・C	218分29秒
レディース優勝	宮田 よしえ（JPSC）	54分09秒



（大会風景）

個人優勝は小鷲氏（青山P.C）が初タイトルを獲得。団体戦は、毎年徐々に順位を上げてきた、六本木ローデシアンP.Cが初優勝。天下無双のジヨソルバP.Cから団対戦のタイトルを奪った。



（大会風景）

第6回 全日本パイプ大会

1978年9月23日（東京） 帝国ホテル 206名参加

個人優勝	菊地 敏男（塙P.C）	126分38秒
団体優勝	函館パイプクラブ	293分14秒
レディース優勝	市川 滯（JPSC）	94分12秒



（開会式風景）

団体戦は東京勢から初めて函館P.Cがタイトルを奪いとった。



（大会風景）

第5回 全日本パイプ大会

1977年10月9日（大阪） 新阪急ホテル 155名参加

個人優勝	佐藤行雄（ジヨンシルバー）	145分09秒
団体優勝	ジヨンシルバーP.C	363分12秒
レディース優勝	宮田ヨシエ（新橋P.C）	75分36秒

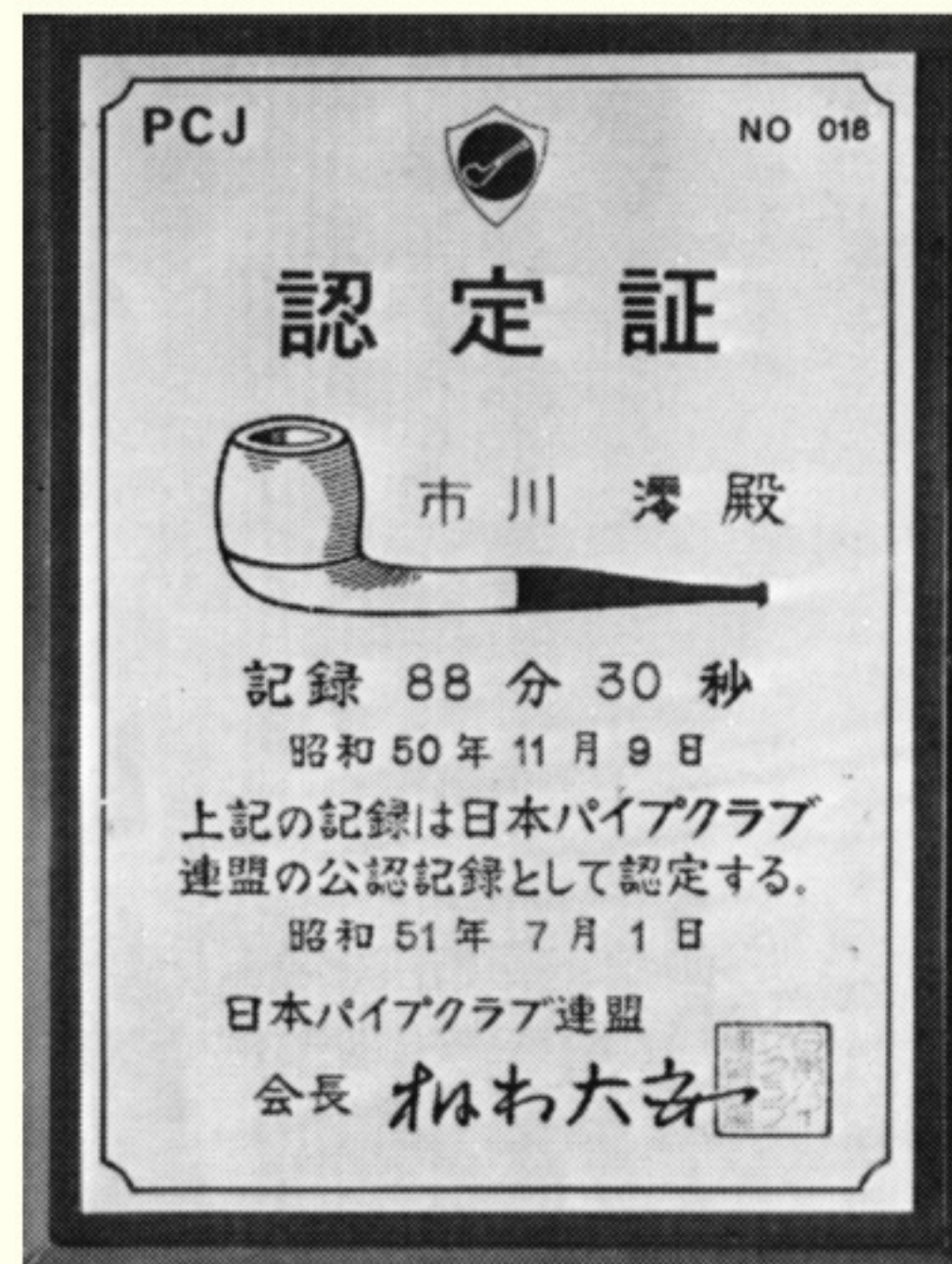


（大会風景）

第5回大会は東京を離れて初の大会でした。主管クラブの関西パイプクラブは、昨年の世界大会につづき、ライトブルーの揃いのブレザーを着用し、一目で関西PCとわかり好評でした。



（大会風景）



（認定書）

前回、前々回の優勝者が相次ぎリタイヤし、この競技がいかにメンタルな競技といえる。優勝をねらうベテランでも、ちょっとした油断で、火が消えてしまいます。

この年より記録認定書を発行する事になりました。

第4回 全日本パイプ大会

1975年11月9日（東京） 帝国ホテル 200名参加

個人優勝	佐久間 建二（ジョンシルバー）	123分15秒
団体優勝	ジョンシルバー-P.C	313分48秒
レディース優勝	市川 滯（JPSC）	88分30秒



（大会風景）

この年に日本パイプクラブ連盟が設立され
全国に30クラブのパイプクラブが連盟に
加盟されて居ります



（大会風景）

天下無双のジョンシルバー会長。ここで
負けてはと見事、初優勝され面目躍如。

第3回 全日本パイプ大会

1974年10月6日 (東京) 帝国ホテル 130名参加

個人優勝	山田 重雄 (JPSC)	110分36秒
団体優勝	JPSCチーム	280分05秒
レディース優勝	市川 滯 (JPSC)	62分45秒



(大会風景)

第3回よりパイプクラブ連盟主催、初の全国大会で年に一度のパイプ仲間のお祭りとなった。3回大会の成績はJPSCが3部門とも取得し完全制覇しました。

協賛会社

柘 製 作 所	サントリー株式会社
吉永プリンス株式会社	服部時計店
株式会社フカシロ	オールドパー株式会社
株式会社春山商店	ダウエィグバーツタバコカンパニー
長島商事株式会社	アルフレッドダンヒルオブロンドンリミテッド
株式会社第一商店	日本シイベルヘグナー株式会社
株式会社カナザワ	吉川商事株式会社
秋山産業株式会社	レイノルズタバコカンパニー
日辰貿易株式会社	チャラタン
泰東株式会社	博美堂印刷株式会社
社団法人日本喫煙具協会	新宿加賀屋
日本専売公社	カブノス六本木たばこセンター

連盟・全国大会の運営資金として、各協賛会社から援助していただきました。